

2024年 「共に学び成長・共に学ぶ喜びを」



教育支援センター 特任教員 高橋裕美子

新たな年度になり、教育支援センターには、保育・教育現場や施設の現場での体験に向けて準備のために日々、多くの学生が来室しています。

昨年度より小学校教育実習の担当として勤務しておりますが、学生の皆さんが、年間を通じて実地体験活動を行い、自分を振り返る経験を積み重ねることで成長していく姿に大きな喜びを感じています。年度末には、学校での実地体験を終えてカルテの記入に来た学生が、「今までなら、今日のような子ども達同士の関わり方にどう対応していいのかわからなかったけど、今日は、これまでの体験を生かして子ども達に声かけをして、自分なりに対応することができ、すごく嬉しかった」と目を輝かせ、自分の成長を語ってくれました。また、3月には、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により人とのつながりができず、不安な大学生活をスタートした10期生が、採用試験、教育実践演習等に取り組みながら、少しずつ人とつながり、「この大学で学ぶことができていると本当に良かった」と、友達と支え合って成長できた喜びを実感しながら巣立っていきました。「重ねた知恵を糧にして明日に輝き放て」と大学歌の歌詞にあるように、それぞれの地で輝き続けてほしいと願っています。

このように学生一人一人の1年間の大きな成長に感動すると同時に教育支援センターの役割の大きさや責任の重さを感じている毎日です。

これから、2年生は初めての学校現場での実地体験活動や保育所等での実習、3年生は小学校・施設・幼稚園等での実習、4年生は幼稚園等・特別支援学校での実習や採用試験等と、これからもこれまで以上に悩み、迷いながら自分の道を切り拓いていくことなのでしょう。その過程全てが大切な経験です。すぐ結果に結びつくものもあれば、随分後になって自分の人生の中でつながってくる経験もあるでしょう。どんな経験も皆さんの歩む道にきっと意味のあるものであると信じています。

今年度も日常的に現場での実地体験活動ができる環境にあることに感謝しながら、多くの学びを積み重ねていってほしいと願っています。

「学びの縁を得てここに集いて」学生の皆さんと一人一人が本学で学んでよかったと思えるように、皆さんのこの大学での学びを支えることができればと思っています。共に頑張りましょう。どうぞ、気軽に教育支援センターに寄ってください。

引用させて頂いた大学歌は、創立十周年を記念して、福山市出身のアーティスト世良公則さんが作曲し、歌詞は公募により福山市出身の方と世良さんが一緒に、2019年に作られました。しかし、コロナ禍で大学歌を歌う機会はなく、昨年度の10期生の卒業式に数年ぶりに歌われたと聞きました。今年度の入学式には合唱隊に参加し、学生の皆さんと共に新入生をお祝いができる経験をさせて頂きました。躍動感ある力強い旋律と学生へのエールがちりばめられた大学歌を卒業式にも学生の皆さんと一緒に歌えればと思っています。